

平成21年2月6日

各 位

上場会社名 極東貿易株式会社
 代表者 代表取締役社長 荒木 信哉
 (コード番号 8093)
 問合せ先責任者 経理部長 苫米地 信輝
 (TEL 03-3244-3592)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	71,000	700	1,100	340	12.69
今回発表予想(B)	71,000	450	650	△800	△29.87
増減額(B-A)	—	△250	△450	△1,140	—
増減率(%)	—	△35.7	△40.9	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	77,691	1,143	1,450	339	12.65

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	66,000	400	800	200	7.47
今回発表予想(B)	66,000	200	500	△900	△33.60
増減額(B-A)	—	△200	△300	△1,100	—
増減率(%)	—	△50.0	△37.5	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	73,035	782	976	△44	△1.67

修正の理由

平成21年3月期業績予想の修正理由

当社グループの通期業績に関しまして、昨年後半から顕在化している世界規模での景気低迷の影響を受け、中国での自動車部品及び家電向けコーティング材事業が急激に落ち込み、また製鉄関連、重電関連等国内主要客先向け案件の低迷が余儀なくされ、大幅な営業収益の見直しを図らざるを得ない状況にあります。また、期末に向け投資有価証券の評価損失を更に認識せざるを得ないこと、加えて昨年1月に発生した防衛省向け輸入品価格に係わる過大請求問題に関し、防衛省の調査が未だ終了していない状況であって、極めて不透明な状況が想定されております。

こうした環境の中、保守的な判断から当期純利益が10億円ほど所期見込みから下振れすることとなり、8億円の当期純損失となる見込みです。

以 上